

科目名	神戸と防災学		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	諏訪 清二			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)		反転授業		
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 阪神・淡路大震災をはじめ国内外の災害の事例から、防災の教訓と知識を学ぶ。災害時に自分の命を守る方法を知り、行動に移そうとする姿勢を身に着けるとともに、復旧・復興過程で社会に参画する姿勢を育てる。				
[授業概要] 防災学習アドバイザーの経験を持ち、文部科学省「防災教育支援に関する懇談会」「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」などの委員も勤めた教員が担当します。日本は災害と戦い続けてきました。阪神・淡路大震災(1995)を中心に、国内外で発生した災害の事実と教訓を学び、私たちがどうやって災害と向き合ってきたかを学びます。 具体的には、①災害への備え、災害時の対応、避難所生活や災害ボランティアなどを実際の経験、②実際の体験談を中心に被災と復旧・復興のプロセスを学びます。特に、被災後の人々の知恵―助け合い、支援、法・制度の整備、災害ボランティア、防災教育など―を実際の体験をもとに学びその意味を考えます。近年も、能登半島地震をはじめとする地震災害や気象災害が頻発しており、近い将来、南海トラフ巨大地震も必ず発生します。未来の災害時に自分の命を守り、他者の安全を確保し、より安全で安心な社会の構築に参画するためにはどうすればよいかを被災の事実をもとに共に考えていきます。人と防災未来センターの見学も行います。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間] ・事前学習として阪神・淡路大震災に関する本を一冊選んで読み、感想を1200字程度にまとめる。 ・1日目、2日目の講義の終わりを与えられた課題について自分の考えを800字程度で書く。 ・3日目の終わりに、自分が設定したテーマで1200字程度のレポートを書く。 * manabaで提出する。				
[授業計画] 3日間の集中講義とする。				
【1日目】 1 ガイダンス(講義の概要と成績・配点の説明)、ディスカッション「神戸のイメージ」 2 阪神・淡路大震災(被災体験から学ぶ) 3 阪神・淡路大震災(被害の概要と避難所の実際) 4 阪神・淡路大震災(避難と避難所、復旧、復興)				
【2日目】 5 東日本大津波(被災体験から学ぶ) 6 気象災害から学ぶ(ハザード、備え、避難の判断、様々な気象災害) 7 災害ボランティア、ディスカッション「こんなときどうする?」(災害ボランティアの実際から) 8 復興のまちづくり				
【3日目】 9 防災の基礎(誘因、素因、社会の防災力、脆弱性、防災、減災、ハード、ソフト、など) 10 ディスカッション「人と防災未来センターで知りたいこと」 11 フィールドワーク(人と防災未来センター) 12 フィールドワーク(人と防災未来センター) 13 ディスカッションとまとめ(10時間目に設定した課題の解決レポート) * 大学から人と防災未来センターへの交通費 人と防災未来センター入場料 大学生450円(20人以上であれば350円)				

科目名	神戸と防災学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	諏訪 清二		
〔 成績評価方法 〕 事前レポート 20点(20%) 1日目レポート 800字 20点(20%) 2日目レポート 800字 20点(20%) 最終レポート 1200字 40点(40%) 合計100点 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 基本的に授業時間内で解説する。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行う。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:国際1-3-1／フィールドワークや聞き取り調査など社会調査に関わる基本的な知識・技法を備えている。 成績評価方法:巡検とレポートで評価する。 学科DP番号／DP内容:国際3-1-2／グローバルな視点を持ちながら、自らの置かれた場で、地域の発展や課題解決に関わろうとする意欲を持っている。 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。 学科DP番号／DP内容:国際3-2-2／地域社会に積極的にに関わり、人々と協力・協働して行動できる。 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢 成績評価方法:講義への参加姿勢とレポートで評価する。 〔 教科書(ISBN) 〕 〔 参考書(ISBN) 〕			

S43020 [LGI2-001]